

第6学年 総合的な学習指導案

屋久島町立神山小学校 教諭 坂元 達哉

1 単元名 「生かそう屋久島のみ力 創ろうわたしたちの未来」

2 単元の目標

- 屋久島の魅力や課題、それらと人・もの・こととのつながりについて理解し、未来の屋久島や将来の自分の姿を思い描きながら動画やパンフレット等にまとめ、発信することができる。
(知識及び技能)
- 自然・産業・伝統など屋久島の魅力を幅広く捉え、課題を見出し、解決するための方策を考えたり、必要な情報を整理・分析したりしてまとめることができる。
(思考力・判断力・表現力等)
- 屋久島の未来について他者と協働して積極的に社会参画し、将来の自分について理想の姿を思い描き、それに向けて行動することができる。
(学びに向かう人間力, 人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

これまで児童は、総合的な学習の時間に、3年生で地域のたんかんを題材として体験活動を行い、4年生でレンジャーと屋久島の自然について調査し、5年生で学校のサツマイモやジャガイモを栽培し、調べ学習をするなどしてきた。さまざまな学習を通し、探究的な見方・考え方を働かせ、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決する力を身に付けてきている。

本単元は、屋久島の魅力や課題について情報収集したり、それらを整理・分析したりしながら、屋久島の未来像について考える活動を通して、屋久島の魅力や課題、それらと人・もの・こととのつながりについて理解することができるようになることをねらいとしている。また、屋久島の魅力や課題の解決方法、未来の屋久島像を他者と協働しながら粘り強く考えることもねらいとしている。

さらに、本単元の学習は3学期の「未来へ向かって歩きだそう」へと発展させ、自分の生き方の学習と深くつながっていく。また、中学校でのSDGsの課題別に探究する総合的な学習の時間で求められる資質・能力の育成につながると考える。

(2) 児童観

本学級の児童が本題材に関連する内容について、どのように捉えているか調査してみると、次のような結果だった。(令和4年9月16日実施, 質問紙法, 調査人数14人)

【調査1】屋久島はどんなところですか。(自由記述)
自然が豊か(14人)
【調査2】屋久島の魅力は何だと思いますか。(自由記述)
・自然がたくさんある(13人) ・生き物(鹿やさる, 魚)(3人) ・首折れサバ(1人) ・わからない(1人)
【調査3】「理想の屋久島」について自分の考えを書きましょう。(自由記述)
・ゴミがない(7人) ・生活しやすい(コンビニ・商業施設・テーマパーク)(4人) ・生き物が住みやすい(1人) ・土地が広い(1人) ・みんな優しい(1人)
【調査4】今まで、屋久島のためにどのようなことをしましたか。(選択 複数回答可)

- | | | |
|----------------------|-----------------|----------------|
| ・地域のお祭りへの参加（13人） | ・川や海の清掃（9人） | ・植林などの緑化活動（4人） |
| ・ぼんかん・たんかんちぎり・除草（6人） | ・海のフィールドワーク（3人） | |
| ・森のフィールドワーク（1人） | ・その他（ごみ拾い）（2人） | |

【調査1・2】より、多くの児童が屋久島は自然豊かな島であると認識しており、屋久島の魅力は自然や生き物にあると感じている。休日には海や川で泳いだり、山登りをしたりする児童も多いことから、これまでの生活経験から屋久島の魅力を捉えていると考えられる。

【調査3】より、半数の児童が、自然や生き物を屋久島の魅力の一つと考えており、今後も守っていききたいという思いをもっていることが分かる。一方で屋久島での生活に不便さを感じている児童もあり、より便利な生活へ憧れを抱いている児童もいた。日常生活で鹿児島本土に買い物に行ったり、修学旅行で本土の施設を訪れたりしており、利便性の良さを感じていることが影響していると考えられる。

【調査4】より、多くの児童が川や海の清掃を経験しており、豊かな自然を守っていこうと行動しているが分かる。また、地域のお祭りにも多くの児童が参加していることから、地域との関わりが深いことが推察される。児童の住む地域には、棒踊り（尾之間）や十五夜（麦生）、ごちよう踊り（原）など伝統のお祭りがあり、児童も参加している。しかし、【調査2】の屋久島の魅力を問う質問では、伝統行事等について回答している児童はおらず、屋久島の魅力を多面的に捉えていないことが分かる。

（3） 指導観

児童は、修学旅行で鹿児島本土を訪れ、建造物や商業施設、公共交通機関など屋久島との違いを体験してきた。そこで、修学旅行で体験した鹿児島本土の良いところや不便に感じる場所などを出し合いながら、屋久島と比較し、他にはない屋久島の魅力に着目させる。

「#世界が知らない屋久島のみ力」では、これまでの経験や調べ学習を通して、環境や文化について調べる活動を行わせる。その過程で、「もっと知りたい」「本やインターネットに載っているものではない魅力を探したい」という思いから、屋久島のことをより知っている人物に焦点を当て、魅力について探る活動を設定する。

「YOUは何しに屋久島へ」では、「屋久島の魅力をもっと知りたい」という思いから、児童の興味のある分野の専門家を、ゲストティーチャーとして迎え、児童が気付いていなかった屋久島の魅力、ゲストティーチャーの屋久島に対する思いや取組、感じている課題などについてインタビューし、新たな屋久島の魅力を見出していく。また、今ある課題を解決することでより屋久島の魅力が広がることを気づかせるために、ゲストティーチャーが感じている課題について共通理解を図り、その課題解決についてグループで話し合う場を設定したり、グループ間で意見交換したりする場を設定する。

そして、自分たちにとっての「理想の屋久島像」を思い描き、その実現に向け、具体的に自分たちにできることを考え、ゲストティーチャーや地域の方と協力しながら、屋久島の新たな魅力や理想の屋久島像を発信する活動や場を設定する。

これらの活動を通し、将来の自分の姿を想像し、屋久島の魅力を守り、さらに発展させられるよう、考え、行動できる姿を目指す。

（4） ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

公平性・・・屋久島の未来を考え、今ある伝統行事や自然環境を次の世代に残していくことが大切であること。

相互性・・・屋久島の自然環境を守りながら、魅力を高めることが地域を守ることにつながり、さらには地球を守ることにつながること。

責任性・・・将来屋久島のために自分にできることを考え、協力しながらやり遂げること。

・ 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

屋久島の未来像を思い描き、それに向けて自分にできることを考える力。

他者と協力する態度

保護者や地域の方、クラスの友達と協力し、テーマを絞って探究していく態度。

つながりを尊重する態度

屋久島の自然・産業・伝統・人とのつながりを持ち、将来屋久島を支える活動をしていく態度。

・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

将来のことを見据え、これまで引き継がれてきた伝統や産業を未来につなげる意識をもつ。

幸福感を大切にする

今あるものに価値を見出し、それらを大切にしていく。

・ 達成が期待される SDGs

1 1 持続可能な屋久島のまちづくり 1 4 持続可能な海洋保全 1 5 自然生態系の保全

4 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
①屋久島の魅力や課題、それらと人・もの・こととのつながりについて理解している。 ②未来の屋久島や将来の自分の姿を思い描きながら動画やパンフレット等にまとめ、発信することができる。	①目的に応じて、必要な情報を整理・分析してまとめることができる。 ②自然・産業・伝統など屋久島の魅力を幅広く捉え、課題を見出し、解決するための方策を考ええることができる。	①屋久島の魅力・課題について探求し、他者と関わりながら、主体的に課題を解決しようとしている。 ②屋久島の未来について他者と協働して積極的に社会参画しようとしている。 ③将来の自分について理想の姿を思い描き、それに向けて行動しようとしている。

5 単元の指導計画 (全 30 時間)

	主な学習活動	学習への支援	
見 つ め る (5)	○ 修学旅行を通して感じた鹿児島島の魅力について話し合う。	○ 児童が感じた様々な魅力を引き出すために、ロイロノートの共有ノートを使い、意見を出し合う。	(ア) ① (知・技)
	○ もっと魅力ある屋久島にするために鹿児島で感じた魅力を屋久島にも生かしてみたらどうなるか考える。	○ 鹿児島島の魅力を屋久島に持ち込んだらどうなるか具体的にイメージさせるために、ロイロノートのシンキングツールを使い、まとめさせる。	(イ) ① (思判表)
	○ 屋久島の自然や伝統行事・産業・食など屋久島の魅力を想起する。	○ 具体的にイメージしやすくするために、動画や写真を見せる。	
調 べ る (2) (1)	「#世界が知らない屋久島のみ力」 ○ 屋久島の魅力を調べる。	○ 伝統・食・自然環境など幅広い分野の魅力に気づかせるために、社会や総合などこれまで学習してきたことを想起させる。	(ア) ① (知・技) (イ) ① (思判表)

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋久島の伝統・食・自然環境に精通している人を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰がその分野に詳しいのか事前に調べておき、各分野のゲストティーチャーをピックアップしておく。 ○ 事前に打ち合わせを行い、ゲストティーチャーが感じている課題に重点をおきながら、課題解決に向け、実際に取り組んでいること、解決できていないことなどについて話をしてもらう。 	(ウ) ① (主体的)
	<p>「YOUは何しに屋久島へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 屋久島の魅力や自分の仕事、屋久島のために行っている取組などの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力、ゲストティーチャーの思いや取組、課題など、話を聞くときの視点を定めておく。 ○ メモをとったり、録画したりして振り返れるように準備しておく。 ○ 話をする際に、活動している内容がわかる写真や物を持ってきてもらう。 	(イ) ① (思判表) (ア) ① (知・技)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーから聞いた話を個人でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まとめやすくするために、魅力やゲストティーチャーの思いや取組、感じている課題など、まとめる項目を示す。 ○ 修正したり、操作したりしやすいように、ロイロノートのシンキングツールを使い、まとめさせる。 ○ 魅力、思いや取組、課題を視覚的に確認できるように、それぞれの項目を色分けしながらまとめさせる。 ○ 話し合いで様々な意見を聞き、よりよい解決方法を見出すために、自分なりの解決方法も考え、記録させる。 	(ウ) ① (主体的)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーの話を個人でまとめたものをもとに、グループで話し合い、思考ツールを使い、課題を明確にする。 ○ まとめた内容を整理・分析しながら、課題の解決方法についてグループで考える。 ○ 屋久島の魅力やゲストティーチャーが感じている課題、自分たちで考えた解決方法を発表し、全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人でまとめたものをもとに、グループ内で対話しながら、魅力、ゲストティーチャーの思いや取組、感じている課題など色分けしながら、まとめる項目を示す。 ○ 項目ごとに色分けしながらまとめるように声をかける。 ○ 屋久島の魅力を広めるために、課題がたくさんあることに気付かせ、課題を解決することでより魅力が広がり、深まることに気付かせる。 	(イ) ②(思判表)
ふかめる(3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理想の屋久島像について話し合い、具体的な活動について考える。 ○ 理想の屋久島についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験したり、協力してもらったりできるように、活動内容を明確にさせる。 ○ 学習してきたことを広めることを見通して、まとめられるようにする。 	(ウ) ② (主体的) (イ) ① (思判表)
ひろげる(10)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な関係機関と連携しながら屋久島の魅力をまとめ発信する。 ○ 将来の理想の自分の姿を想像しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーや関係機関とつながれるようにするために、。 ○ 将来の自分をイメージできるようにするため、これまでの学習を通して気づいた新たな価値、SDGsを意識した行動宣言などを行う。 	(ウ) ②③ (主体的) (ア) ①② (知・技)